

# ミライマバリDXプラン

—今治市デジタル未来戦略—



## 実施戦略



2023年3月

今治市

# 実施戦略の構成について

実施戦略においては、基本戦略で掲げた下記の  $3 \times 9 = 27$ 項目それぞれに現状と目標を整理します。

中分野27項目のうち、技術的・法令的な制限等も考慮し、早期に実現可能なものや着手可能なもの、ニーズの高いものから優先的に取り組みます。また、中分野27項目における個別の具体的な取組については、別添「**今治市デジタル未来戦略 進捗管理表**」により進捗管理を行います。

大分野	中分野	方針	分野番号	ページ	
市民生活のDX	デジタルで「ひとりひとり」が輝く今治をみんなで創出	コミュニティのDX	ICTを活用した新しくも懐かしいコミュニティづくり	1-1	5
		健康・医療・介護のDX	デジタルが支える健康といつまでも自分らしい暮らし	1-2	6
		子育てのDX	子どもを守り育てICTネウボラによる切れ目のない支援	1-3	7
		モビリティのDX	どこへでも「行ける」「届く」暮らしを中心にしたモビリティサービスの充実	1-4	8
		教育のDX	ICTで「誰もが」「いつでも」「どこからでも」自分らしく学べる教育環境の整備	1-5	9
		環境・エネルギーのDX	デジタル技術で豊かな自然環境を次世代につなぐ	1-6	10
		文化・スポーツのDX	バーチャルでつなぐ今治と世界の文化・スポーツ	1-7	11
		社会参加のDX	デジタルで支え合うインクルーシブ社会の実現	1-8	12
		デジタルデバйд対策	誰一人取り残されないデジタル社会の実現	1-9	13
まちづくりのDX	デジタルで市民の命を守り「商いができる」今治の実現	産業のDX	デジタルによる産業のイノベーションとDX人材の育成	2-1	16
		商流のDX	今治の「いいもの」を世界に広げるデジタルマーケティングとバーチャル商店街	2-2	17
		人流のDX	デジタルを活用したリアルなにぎわい拠点づくり	2-3	18
		空間距離のDX	しまなみ海道「ゼロ距離」生活の実現	2-4	19
		インフラのDX	デジタルを活用したスマートなインフラ投資とインフラのデータ化	2-5	20
		観光のDX	デジタルとリアルの相乗効果で観光力をグレードアップ	2-6	21
		移住のDX	心地好く「住む」リモートで「働く」日常がワーケーションな移住先進地	2-7	22
		農林水産業のDX	農林水産業のスマート化による安定した生産と就業者の確保	2-8	23
		防災・安全のDX	デジタルを活用した防災力強化と安全対策	2-9	24
行政のDX	「市民が真ん中」の視点で超スマート自治体へ体質変革	住民サービスのDX	時間や場所にとらわれずワンストップでサービスが受けられる手のひら市役所	3-1	27
		情報発信のDX	クロスメディアによる情報発信とプッシュ型で最適な情報提供	3-2	28
		業務改革のDX	業務のデジタル化による生産性向上とスマートな行政運営	3-3	29
		働き方のDX	時間や場所にとられない生産性の高い新しい働き方への転換	3-4	30
		データ連携のDX	たとえばマイナンバーによる統合IDの実現などデータ連携プラットフォームの構築	3-5	31
		データ活用のDX	オープンデータの活用による官民サービスの高度化	3-6	32
		通信環境のDX	DXの基盤となる利用しやすい情報通信環境の整備	3-7	33
		DX人材の育成	スマート自治体の実現に向けたDX人材の育成	3-8	34
		DX推進のためのセキュリティ対策	DXによる利便性の向上とセキュリティ確保の両立	3-9	35

# 実施戦略の見方

前頁に掲げた  $3 \times 9 = 27$  項目について、次のように「いままで」「ミライマバリビジョン」「ミライマバリアクション」を設定しました。

いままで  
As is

- 今治市の現状。課題だと感じていること。

ミライマバリビジョン  
Vision

- 目指す未来像。目標。こうありたい、こんなことをしたい。

ミライマバリアクション  
Action

- ビジョンを実現するために具体的にやること、やりたいこと。事業、企画。

ミライマバリアクションは、次のアイコンで実装レベルを表現しています。

「🤔 構想段階」や「🔍 検討中・研究中」のものについては、技術や法令の制限や、今治市への適正の有無などによって、必ず実装できるとは限りませんが、将来的な実装を想定して構想・研究しているものです。

- 🤔 **構想段階**：アイデアや夢の段階。「こんなことができるといいな」「こんなこともできるかも」
- 🔍 **検討中・研究中**：まだ具体的ではないが、導入可能性や有用性について、検討や情報収集の段階にあるもの。
- 👉 **試験導入・実証実験中**：実用化に向けてソリューション\*<sup>3</sup>の試用や、一部実証実験などで実際の導入可能性を検証している段階にあるもの。
- 👏 **実施中・展開中**：すでに今治市で実施されている段階にあるもの。効果を検証し、展開・拡充を行う。

\*のついた用語は、（別添2）デジタル関連用語集で解説しています。

# 市民生活のDX



# ICTを活用した新しくも懐かしいコミュニティづくり (①コミュニティのDX)



SNSなどICTツールを通じて自治会やPTAなど地域のコミュニティに若い世代が参画するきっかけを生み出し、防災や福祉をはじめとする地域での支え合いの機運をつくりだします。

いままで  
As is

- 主に若い世代を中心に自治会などの加入率が低下し、地域活動の担い手が高齢化している。
- 防災・防犯など「共助」機能の維持が課題となっている。
- 時代や暮らし方の変化に伴い、地域コミュニティ自体のありかたも課題となっている。

ミライマバリ  
ビジョン  
Vision

- SNSやアプリをコミュニティ活動に活用し、広い世代に参加を広げていく。
- オンラインで年代や地域の枠を超えた幅広い交流を生み出す。
- 自治会費の用途や存在意義などを若者や移住者にもわかりやすく伝える。

ミライマバリ  
アクション  
Action

- 🕒 リモートワーカーや移住者が自治会のデジタル化を支援する仕組みづくり。
- 🕒 スマホを使った歩数履歴競争など高齢者も興味を持てる活動を通じ、デジタルに親しむ流れを地域で作っていく。
- 🕒 自治会アプリやSNSなどを用いてコミュニティ活動の活性化を図る。

# デジタルが支える健康といつまでも自分らしい暮らし (②健康・医療・介護のDX)



健診データや医療データに基づき、日常生活から生活習慣病予防や健康づくりを促します。また、介護や福祉の現場でも、見守りカメラ・人感センサーなどIoT<sup>\*24</sup>技術の導入を進め、介護者の負担を軽減します。

いままで  
As is

- 生活習慣病の予防には定期的な健康診断と保健指導が重要だが、健診の受診率は伸び悩んでいる。
- 医療機関や保健師の指導を受けるのはハードルが高いと感じる方もいる。
- 高齢化時代を迎え、医療・福祉分野の人員不足が問題化している。

ミライマバリ  
ビジョン  
Vision

- 数値と根拠に基づくEBM<sup>\*25</sup>の考えかたによる「スマート健康管理」を推進。
- アプリやAI<sup>\*26</sup>を活用することで、自分で健康管理に取り組める。
- デジタル技術を活用して、介護や医療の現場の負担を軽減し、働きがいを増進。

ミライマバリ  
アクション  
Action

- 👤 健康アプリや健康ポイント<sup>\*27</sup>を活用して、個人の健康づくりを推進。
- 👤 健診データ・医療データ連携による市民の健康促進。
- 👤 eスポーツ<sup>\*28</sup>を通じて、誰もが自分らしく活躍できる共生社会を実現。
- 👤 デジタル技術で要介護者を見守る「スマート福祉」を導入し介護現場の負担を軽減！

# 子どもを守り育むICTネウボラ<sup>\*29</sup>による切れ目のない支援 (③子育てのDX)



いままで  
As is

- 妊娠、出産、就学、引っ越しなどによって相談できる窓口が変わり、一貫した支援が受けられない。
- 子育て関係機関にとっても、紙で保存された情報は共有が難しく、継続した支援の支障となっている。
- 子育て中の保護者にとって負担が少ない手続き方法や、いつでも気軽に相談できる窓口が求められている。

ミライマバリ  
ビジョン  
Vision

- 子どもに関する情報が関係機関で安全に共有され、切れ目のない相談を可能に。
- 母子手帳など「紙の良さ」が生きるメディアと、子育てアプリなどICT技術を組み合わせ、よりよいサービスを提供。
- 保育所・幼稚園ともデジタル活用でコミュニケーションを密にして、安心して子育てできる今治市へ。

ミライマバリ  
アクション  
Action

- 🗨️ LINEチャット<sup>\*30</sup>などを活用し、オンラインでいつでもどこでも子育て相談を可能に。
- 🗨️ AIを活用し、子どもひとりひとりに合わせた細やかな発達支援。
- 📣 子育てアプリから、健診や予防接種などの情報を、成長にあわせプッシュ型<sup>\*31</sup>で通知！



# どこへでも「行ける」「届く」暮らしを中心にした モビリティ<sup>\*32</sup>サービスの充実（④モビリティのDX）



既存の公共交通網の隙間を埋める交通サービスを提供します。また、必要なモノやサービスを自宅近くまで届けることで、時間と交通費を伴う義務的な移動を減らし、どこでも快適な暮らしのできるまちを目指します。

いままで  
As is

- 高齢化の進行と共に免許返納者が増え、交通手段に困る人が増えている。
- 既存の公共交通機関だけでは、十分に移動のニーズを満たせない。
- 地域によっては「出かけなければならない」用事にかかる時間や費用の負担が大きい。

ミライマバリ  
ビジョン  
Vision

- 自動運転やオンデマンド交通で「出かけたい」を支える交通網を整備。
- 出張窓口や移動診療、無人の商品配送などで「出かけなくてもいい」暮らしを可能に。
- 島の多い今治だからこそ、海上輸送や海上交通に自動運転船が活躍。

ミライマバリ  
アクション  
Action

- 🍳 自動運転とドローン<sup>\*33</sup>配送を組み合わせた一体型の交通・配送。
- 🍳 自宅近くまで市役所の窓口がやってくる「おでかけ市役所」の実現。
- 🍳 ライドシェア<sup>\*34</sup>、オンデマンドタクシー<sup>\*35</sup>など多様な移動支援サービスの導入に向け実証中。

🍳 構想段階

🍳 検討中・研究中

🍳 試験導入・実証実験中

🍳 実施中・展開中



## ICTで「誰もが」「いつでも」「どこからでも」 自分らしく学べる教育環境の整備（⑤教育のDX）



いままで  
As is

個々の学習履歴に応じてAIが最適な学習メニューを提案する「個別最適な学び」と、ICTを活用した他地域や海外の学校等の交流学习などを充実させ、時間や場所などによる制約がない学びの機会を提供します。

- 教育現場へのICT導入がまだ過渡期であり、よりよい形を試行錯誤している。
- 個人の個性や学力に応じた学び方が求められている。
- インターネット上のトラブルや犯罪に、子どもが巻き込まれることが懸念されている。

ミライバリア  
ビジョン  
Vision

- 誰でも、どこにいても、平等に学習の機会がある。
- 一方で、進度や関心に応じて学習メニューを選択でき、ひとりひとりに最適な学び方ができる。
- オンラインで市外、県外、海外との交流学习も充実。
- 教員と子どものデジタルリテラシーが向上し、トラブルの回避につながっている。

ミライバリア  
アクション  
Action

- 👉 学習アプリで個人に合わせた最適な教材を提供。
- 👉 子どもが安全にインターネットを活用できるように、情報モラル教育を実施。
- 👉 生徒と教師の質問回答だけでなく、生徒同士あるいは教師同士でも学びあいを進める学習支援ツールを活用！
- 👉 教材を持ち運ばなくても、クラウド教材で自宅でも学習が継続できる！

# デジタル技術で豊かな自然環境を次世代につなぐ (⑥環境・エネルギーのDX)



デジタル技術を活用することによって、家庭のごみ排出量やエネルギー消費量などを可視化し、住民の環境意識を高めながら、ごみ減量やエネルギー節約の取組を推進します。

いままで  
As is

- 市民アンケートによると、「環境にいい暮らしをしたい」と考える人は多い。
- ゴみの減量やリサイクル率などの現状と目標が、当事者である市民から見えづらい。

ミライマバリ  
ビジョン  
Vision

- AIを活用したフードロス<sup>\*36</sup>削減や3R<sup>\*37</sup>推進など、住民の自発的なエコアクション<sup>\*38</sup>が生活の中に浸透している。
- ごみの量やエネルギー消費量といった、住民自身の行動の結果が可視化され、当事者が目標をもって取り組める。
- 子どもから大人まで、楽しみながら環境やエネルギー問題への配慮を行っている。

ミライマバリ  
アクション  
Action

- 🕒 節電ポイントやリサイクルポイントなど、環境に配慮した行動に対するポイント付与。
- 🕒 まだ使える粗大ごみのリユースや、資源のリサイクルの状況をオンラインでシェア。
- 👉 今治市ごみ分別アプリ「さんあ〜る」<sup>\*39</sup>で、日常のごみ出しをわかりやすく、便利に！

# バーチャル<sup>\*40</sup>でつなぐ今治と世界の文化・スポーツ (⑦文化・スポーツのDX)



VR<sup>\*41</sup>技術を活用して、文化、スポーツ、エンターテインメントなどを、都市部と格差なく体験できることを目指す一方、世界中の人が今治の伝統文化や文化遺産を体験できるようにします。




いままで  
As is

- 市民アンケートによると、歴史や伝統文化を大切にする住民が多い。また、スポーツも活発である。
- 都市部と比べ、文化的なコンテンツ<sup>\*42</sup>に触れる機会が少ない。
- 美術館や博物館など魅力的な文化施設も数多くあるが、十分に周知・活用されていない。

ミライマバリ  
ビジョン  
Vision

- 市内での文化・スポーツの情報が集約され、興味のある人にダイレクトに届く。
- まだあまり気づかれていないレアな価値のある見どころを、住民自身が発掘・発信している。
- しまなみサイクリングのeスポーツ化など、動画やバーチャル体験で「行ってみたい、見てみたい」を喚起。

ミライマバリ  
アクション  
Action

-  文化・スポーツの催事が一覧でき、住民も発信できるイベント情報ポータルサイト<sup>\*43</sup>。
-  村上海賊ミュージアムで、海賊の暮らしを体験できるVRを提供！
-  市役所職員ユーチューバーが、今治の魅力を発信！

# デジタルで支え合うインクルーシブ\*44社会の実現 (⑧社会参加のDX)



障がい者や外国語話者なども含む多様な個性のある住民が、それぞれの能力や個性を十分に発揮し生活できるよう、ICT技術を活用します。

いままで  
As is

- 障がい者や外国人など、日常生活に不便を感じている方へのサポートが十分ではない。
- 相談や支援を受けられる窓口がわかりづらい。
- 障がいの種類や度合いによっては、就労の機会や手段が少ない。

ミライマバリ  
ビジョン  
Vision

- さまざまな媒体や言語で、誰でも情報提供や相談が受けられる。
- マイノリティ\*45もバリアを感じることなく社会参画している。
- 誰もが地域社会やオンラインのコミュニティで、能力を生かして活躍できる。

ミライマバリ  
アクション  
Action

- 🤖 分身ロボット\*46による外出や就労の代行。
- 🗣️ 翻訳アプリによるAI同時通訳を使った、外国語での相談。
- 🗣️ 自動翻訳機能を用いた今治市ホームページのマルチリンガル（多言語）表示、対応中！

# 誰一人取り残されないデジタル社会の実現 (⑨デジタルデバイド\*47対策)



誰もがデジタル技術の恩恵を受けられるよう、環境の整備を進めるだけでなく、苦手な方へのサポートを行います。またデジタル技術の普及それ自体を、高齢者と若者や移住者など、属性を超えた交流を生み出すきっかけにしていきます。

いままで  
As is

- デジタル機器への苦手意識を持つ人が、取り残される不安を感じている。
- 今治市は立地条件が多様であり、地域によりICTインフラ\*48の整備が均等ではない。
- 年齢や居住地による情報格差（デジタルデバイド）が生まれかねない。
- 先進的なデジタル技術に楽しみながら触れる機会が少ない。

ミライマバリ  
ビジョン  
Vision

- 市内どこでも高速インターネットが使える環境を整備。
- デジタルが苦手な方でも生活に困らない、使いやすいUI\*49や、地域ぐるみのサポート体制がある。
- デジタル技術を使っているという意識なしに、自然とデジタル技術の恩恵を受けている暮らし。
- 人の集まる場所が、デジタル技術に触れられる場所になっている。

ミライマバリ  
アクション  
Action

- 🍳 SNSを活用した、ICTに親しむイベントの開催。
- 👉 公衆Wi-Fi\*50の拠点整備、高速インターネット回線の敷設推進中！
- 👉 公民館でスマホ教室開催中！ 郵便局などにスマホ相談窓口を開設中！

## 空飛ぶクルマ

ふだんの通勤や買い物に、空飛ぶクルマを使う日がやってくるかもしれません。

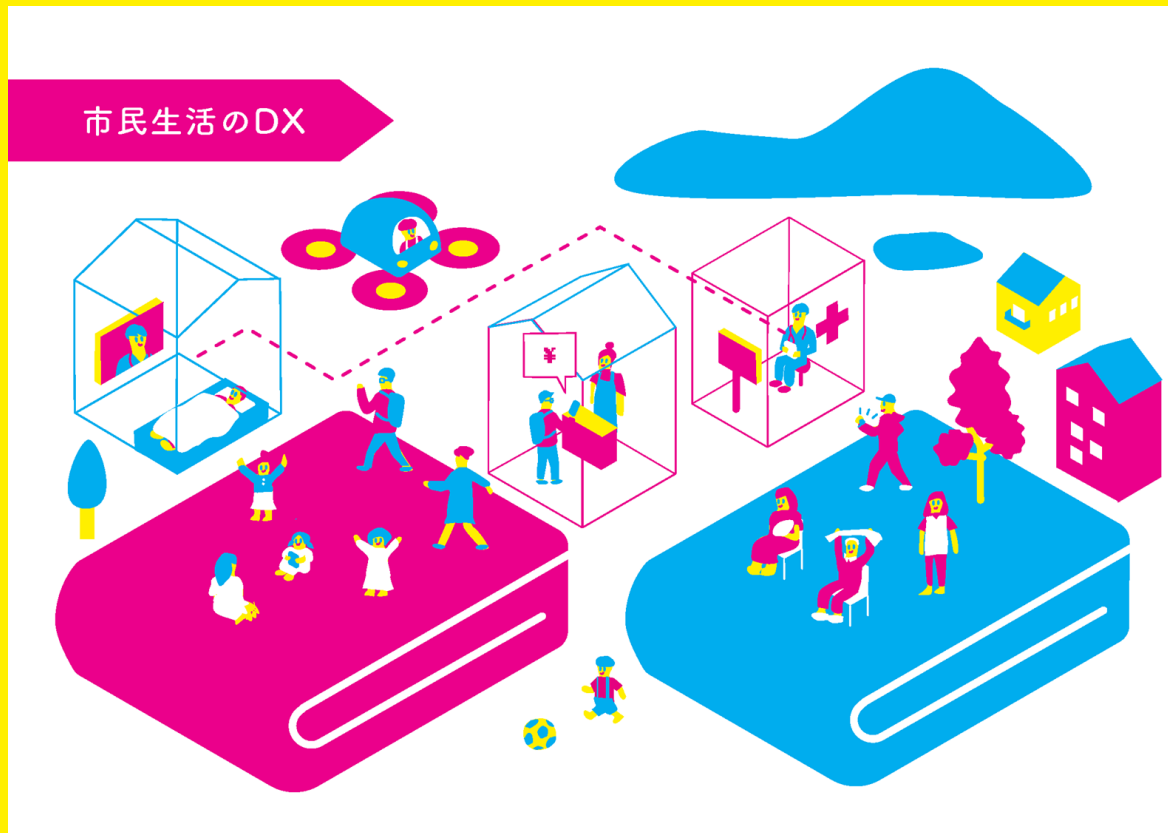
2025年の大阪・関西万博で、会場内や周辺を結ぶ交通手段として、実際に人を乗せて運航することが計画されています。

## キャッシュレス<sup>\*51</sup>決済

現金を使わないキャッシュレス決済として、以前からクレジットカードやデビットカード、SuicaやWAONのような電子マネーが使われています。

近年では「〇〇ペイ」といった名称の二次元バーコード決済が登場しました。店舗側に専用の機器がなくても導入できるため、小さなお店やキッチンカーなどでも普及が進んでいます。

## 市民生活のDX



## オンライン診療

2022年度に、市内の医療機関のオンライン診療導入に対する補助を行いました。

現在のオンライン診療はオンライン通話による視診と問診が中心ですが、将来的にはセンサーやロボットなどを活用し、自宅でも病院同様の診察や治療が受けられるようになることが期待されています。

## 健康管理

スマートウォッチなどウェアラブル（身につける）端末を使って、自分の健康状態を把握することも一般的になりました。

歩数や心拍数、消費カロリー、睡眠時間などを記録し「見える化」することで、自分の体のことをよく知ることができます。

また、個人情報を除いた医療・健康情報を、ビッグデータ<sup>\*52</sup>として集約・分析することで、健康づくりや疾病予防などに役立てられます。

ひとりの健康が、みんなの健康につながっています。

# まちづくりのDX





# デジタルによる産業のイノベーション<sup>\*53</sup>とDX人材の育成 (①産業のDX)



いままで  
As is

ICT企業やシビックテック<sup>\*54</sup>のマッチング、DX人材の育成支援やスタートアップ支援など、地元企業のイノベーションをサポートする体制を整備し、地域内産業の活性化や雇用の創出を促進していきます。

- 先進的な情報に触れる機会が、都市部に比べて少ない。
- せっかく学んだ新しい技術を、地域内で活かすチャンスが少ない。
- 意欲を持った人材が交流する場やきっかけがあまりない。

ミライマバリ  
ビジョン  
Vision

- 想いをもった人材が、インスピレーション<sup>\*55</sup>を得られるさまざまな機会がある。
- やる気のある人材同士がつながりあえる環境を作る。
- 新たな技術知識を活かせる、企業と人材のマッチングの場を提供できる。

ミライマバリ  
アクション  
Action

- 🕒 「マイスター制度」<sup>\*56</sup>「プロ制度」<sup>\*57</sup>（仮）導入によるスキルの可視化。
- 🤝 起業・創業を支援するスタートアップコンソーシアム（仮）の設立。
- 🤝 デジタルをきっかけにつながる場として、デジタル未来コンソーシアムを設立。（2023年度予定）

# 今治の「いいもの」を世界に広げる デジタルマーケティング\*58とバーチャル商店街（②商流のDX）



いままで  
As is

ミライマバリ  
ビジョン  
Vision

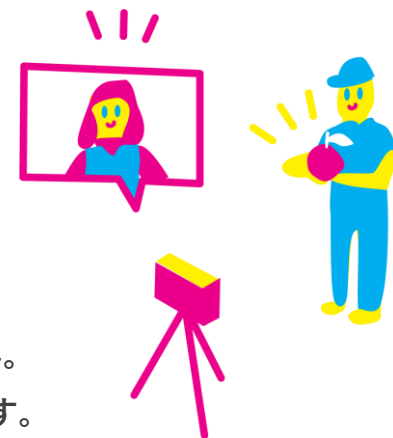
ミライマバリ  
アクション  
Action

今治で生み出される「いいもの」を世界中の顧客に届けるため、デジタルマーケティングやバーチャル商店街を活用します。中小企業や個人事業主が従来の商圏を越えて情報発信を行い、新しい市場を開拓できるように支援します。

- 今治の製品の良さを知る人が、オンラインで購入しやすい仕組みを作りたい。
- デジタルマーケティングについての理解や研究が、地域全体で十分ではない。
- アナログかデジタルかを問わず、もっと多くの方に今治の魅力を伝えたい。

- 「今治あきない商社（仮）」が地域の商工事業者と共に、商圏を超えて今治の産品を売り込み。
- 中小企業や個人事業主もデジタルマーケティングやECサイト\*59を活用し、リピーターを増やす。
- 「i.i.imabari!」\*60をもっとアピールし、世界中に今治のファンを作る。

- 🕒 中小企業・個人事業主に向けた、デジタルマーケティングやECサイトの活用支援。
- 🕒 デジタルを活用した今治産品のブランディング\*61、ビジョンづくりのサポート。
- 👉 i.i.imabari!公式HPやSNSで今治の魅力を発信中！



# デジタルを活用したリアルなにぎわい拠点づくり (③人流のDX)



いままで  
As is

ミライマバリ  
ビジョン  
Vision

ミライマバリ  
アクション  
Action

人流データ\*62の分析によって、まちを歩きかう人々の属性やニーズを把握し、人が集まる価値と理由がある、リアルな「にぎわい」拠点を創出します。

- 時代に応じて、人の集まる「にぎわい」の場所や、そこに求められるものは変わっている。
  - 施設や駐車場、どこが混んでいてどこが空いているのか、行ってみるまでわからない。
  - 安全性や快適さなど、行き先を選ぶための具体的な情報がもっとほしい。
- 
- リアルタイムで混雑や空き具合、今何が起きているのかわかるので、出かける先を選びやすい。
  - 様々な情報が公表されていれば、つながりを持ちたい人が、仲間や拠点をを見つけやすい。
  - 居心地のよい、訪れたいくなる、滞在したくなる場所がある。
- 
- 🕒 にぎわう場所や空いている場所など人の動きを「見える化」し、快適に過ごすための情報を提供。
  - 🕒 人流データをイベント開催に活用し、効果的な宣伝活動や、快適な会場運営を実施。

## しまなみ海道「ゼロ距離」生活の実現（④空間距離のDX）



いままで  
As is

島しょ部と陸地部にまたがる広い市域は、今治の暮らしを考える上で大きな課題です。デジタルを活用し、距離の不便を感じない、実質「ゼロ距離」生活を目指します。

- 島しょ部や山間部では、買い物や通院などの日常の暮らしが不便。
- 市内で移動したいだけなのに、しまなみ海道の移動時間や交通費の負担がある。

ミライマリア  
ビジョン  
Vision

- 陸地部と島しょ部の距離や交通費の課題を、デジタル技術で解消。
- どこにいても買い物や通院ができる、家にサービスが届く便利な暮らし。
- 離れた場所にいる家族・友人とも、近所にいるような感覚でコミュニケーションできる。

ミライマリア  
アクション  
Action

- ④ 陸地部と島しょ部をライブでつないで、コミュニケーション促進や健康づくりに活用。
- 👉 自動運転やドローンを移動や配送に使って、生活をもっと便利に。
- 👉 市役所の支所と本庁をオンラインで接続し、身近な窓口で複雑な手続きや相談が可能に！

# デジタルを活用したスマートなインフラ投資と インフラのデータ化（⑤インフラのDX）



いままで  
As is

欠かすことのできないインフラの維持管理に、AIによるデータ分析や遠隔操作などのデジタル技術を活用して、効率性と安全性を高めます。またインフラの情報をデータベース化し、ビッグデータとして活用します。

- 道路、水道などのインフラの維持のため、点検や修繕に多大な労力と時間を要している。
- インフラに関する膨大な情報が活用可能な形で収集・分析されていない。
- 夜間は暗い地域も多く、人通りが少ない時間帯は外出が不安。

ミライマバリ  
ビジョン  
Vision

- ドローンや遠隔監視装置を用いることで、安全かつ適切な点検が可能に。
- 防犯や交通安全にIoT技術を活かすスマートシティ。
- 住民自身がスマホなどを利用して、安心安全なまちづくりに積極参加できる。

ミライマバリ  
アクション  
Action

- 👤 公共施設や街路灯にセンサー等を設置し、IoT化して情報収集。
- 👤 ドローン等を活用したインフラ点検。
- 👤 離島にIoT水道メーターを導入し、遠隔地の検針を省力化！
- 👤 市民が散歩しながら見つけた道路の危機を通報できる「道路等異常通報システム」稼働中！

# デジタルとリアルとの相乗効果で観光力をグレードアップ (⑥観光のDX)



オンラインやVR技術を活用して、どこからでも今治のコンテンツに触れられる未来を目指します。また、今治を訪れた人が、オンラインのナビゲーションや電子チケットなどで快適に観光を楽しめる環境を整備していきます。

いままで  
As is

- 地元の人しか知らない貴重な歴史遺産や美術品など、まだ隠れた魅力がたくさんある。
- リアル以外でも、市内外の方とつながりを作りたい。
- 店舗や交通機関におけるキャッシュレス決済がまだ普及していない。
- 今治に来たサイクリストなどの動向をより詳しく知り、ニーズに応えたい。

ミライマバリ  
ビジョン  
Vision

- オンライン・メタバース\*63・VR技術を活用して市内外に魅力を発信。
- キャッシュレスや電子チケットで便利な観光体験。
- レンタサイクルと位置情報、人流データなどを結び付けて、より魅力的な体験を提供。

ミライマバリ  
アクション  
Action

- 👤 ④ 收藏品をオンラインで紹介して魅力を伝えつつ、実物を見に来たくなる仕掛けづくり。
- 👤 ④ 「サイクリング」「海」「宿泊」といった複数のコンテンツを広域的に紐づけて魅力アップ。
- 👤 ④ 事業者へのキャッシュレス導入支援（ポイント還元事業、インセンティブ\*64など）。
- 👤 ④ しまなみアートミュージアム・オンラインツアー・VR体験等実施中！

# 心地好く「住む」リモートで「働く」 日常がワーケーション\*65な移住先進地（⑦移住のDX）



いままで  
As is

ミライマバリ  
ビジョン  
Vision

ミライマバリ  
アクション  
Action

リモートワークやワーケーションなど、新しいスタイルで働きたい「転職なき移住者」や「多拠点居住者」にとっても魅力的な環境であることをアピールし、移住者を多様な形で迎え入れます。

- 2023年「住みたい田舎」ベストランキングで4部門1位入賞！
- 子育て世代やシニアだけでなく、もっと多くの方に、移住候補地として知ってほしい、選んでほしい。
- より多くの企業や人に、今治でリモートワーク・ワーケーションする醍醐味や魅力を伝えたい。

- 学校や買い物事情など、移住者が暮らしていく上で知りたい情報が発信されている。
- 自転車やタオル、釣りなど、今治独自の魅力を具体的に発信して、コアなターゲットにも訴求。
- リモートワークやワーケーション可能な施設を整備し、働き方の新しい形を提示する。

🕒 オンライン移住ツアーやバーチャル移住体験、方言などの魅力も盛り込む。

🕒 独自ポイントや地域通貨の導入も検討。

👉 ワーケーションのモデルツアーを実施し、ガイドブックを作成！

👉 オンライン移住相談会、随時開催中！ 「いまばり暮らし」ホームページで移住情報を発信中！

🕒 構想段階

🕒 検討中・研究中

👉 試験導入・実証実験中

👉 実施中・展開中



# 農林水産業のスマート化による安定した生産と就労者の確保 (⑧農林水産業のDX)



いままで  
As is

ミライマバリ  
ビジョン  
Vision

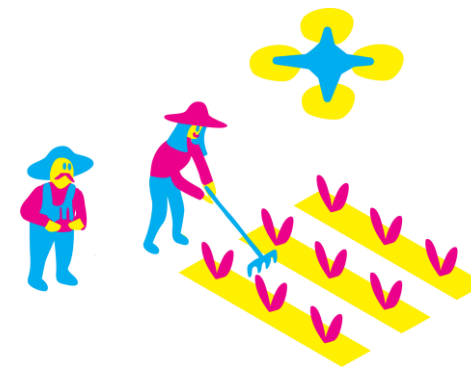
ミライマバリ  
アクション  
Action

農林水産業の現場でドローンやセンサー、自動運転などを活用して、作業の省力化や無人化を進め、生産者の負担を軽減します。また、職業体験やノウハウの伝承にもデジタル技術の活用を推進し、新規参入を支援します。

- 農林水産業従事者の高齢化が進み、将来に向けた事業継続が課題となっている。
- 農林水産業は知識と経験を必要とする分野であるため、新規参入のハードルが高い。
- 副業でやってみたい方がいても、気軽に参入するのは難しい。

- デジタル技術を活用し、熟練の技術と知識を地域で共有、次の世代に継承する。
- AIやデータを活用した最適な生産管理で、農林水産業の収益率を強化。
- デジタル機器を用いて現場の負担を軽減し、作業を省力化&効率化。

- 🕒 専門家による営農データ活用のワークショップ\*66を地域で開催。
- 🕒 旅行者や学生向けに、農泊や渚泊など体験型ツアーを開催。
- 🕒 「スマート農業」\*67「スマート漁業」と呼ばれる最新技術の研究・導入を支援。



# デジタルを活用した防災力強化と災害情報提供体制の整備 (⑨防災・安全のDX)



いままで  
As is

ミライマバリ  
ビジョン  
Vision

ミライマバリ  
アクション  
Action

国や県と連携し、既往災害から収集したデータや、天候や地形などのデータを活用し、より正確に分析した防災情報を住民に提供します。災害発生時には、多様な機器を活用して安全かつ確実に災害の状況を把握し、避難の必要な住民にはプッシュ型で通知します。

- 市民アンケートの結果を見ると、防災情報の充実のニーズが高いことがわかっている。
- 近年増加している豪雨災害や、将来的に想定される南海トラフ地震への備えは必要不可欠。
- 自主防災組織や、ため池・水路などの管理者の高齢化により、防災の担い手不足が懸念される。

- 危険予測データが公表されており、市民ひとりひとりが日ごろの防災行動に活用できる。
- 災害時にはテレビやラジオ、SNSなど、使い慣れた多様な媒体から必要な防災情報を得られる。
- 危険な場所に行かなくても、カメラやセンサーで災害状況を可視化し、迅速に対応が可能。

- 🕒 ビッグデータやAIによる危険予測。
- 🕒 ドローンやIoTによる災害状況の把握や、SNSからの情報収集。
- 👉 ドローンを活用した実践的な災害情報伝達訓練の実施。

## スマート農業

長年の知識と経験を必要とし、肉体的にも重労働である農業など一次産業の分野でも、担い手支援のためにデジタル技術の活用が進みます。

農林水産省のスマート農業のホームページでは、草刈ドローン・自動走行農機などによる農作業負担軽減の事例や、データ活用で収量アップを目指す取組などが紹介されています。

センサーやAIを使うことで、ベテラン就農者の経験や知恵と経験をデータとして受け継ぎ、安定した生産につなげられるようになれば、後継者や新規就農者にとっても大きなメリットです。

### まちづくりのDX



## Eコマース\*68

今治の魅力的な産品を、インターネットを通じて世界中に売り込みたい！それが叶う時代になりました。

ライブコマースの形で、売り手と顧客をリアルタイムでつなげば、商品に関する顧客の質問に丁寧に答えることもできます。

都会に住むお客さんに、画面越しにミカンを選んでもらってその場で代わりに収穫し、即発送。そんな通販だってできちゃうかも。

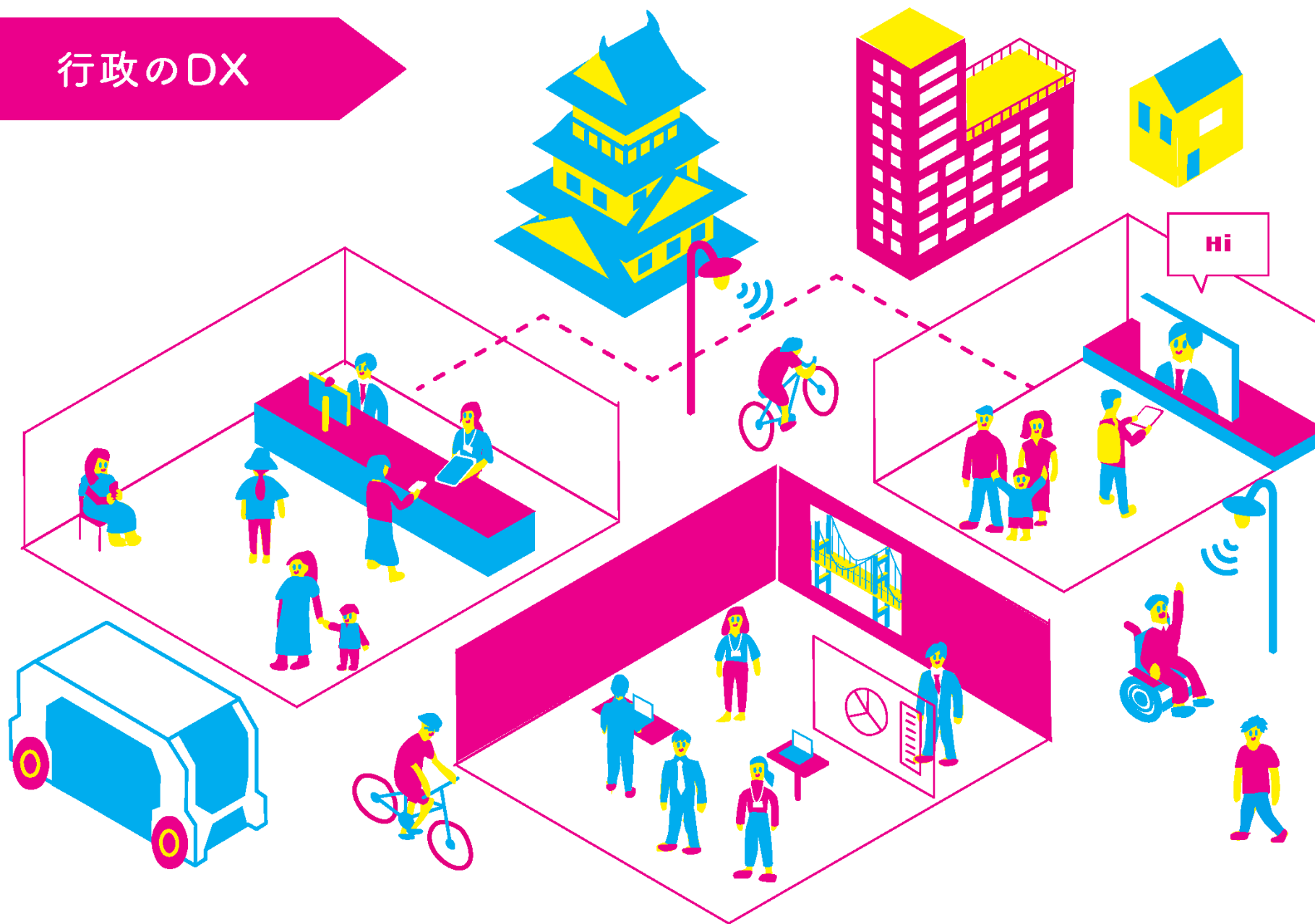
## ドローン配送

今治市では、ドローンによる離島への医薬品配送や、島しょ部への長距離輸送など、地域の課題解決に向けた実証実験を行っています。

また、瀬戸内海で自動運行船の研究に取り組む会社もあります。

いざというとき必要な医薬品や日用品が、空や海から届くようになれば、住み慣れた島でずっと安心して暮らせます。

# 行政のDX



# 時間や場所にとらわれずワンストップ\*69でサービスが受けられる手のひら市役所（①住民サービスのDX）



いままで  
As is

24時間いつでも、どこからでも手続きできるオンライン市役所や、一つの窓口で手続きが完結するワンストップ化を目指します。そのために、まず行政事務の整流化を行います。

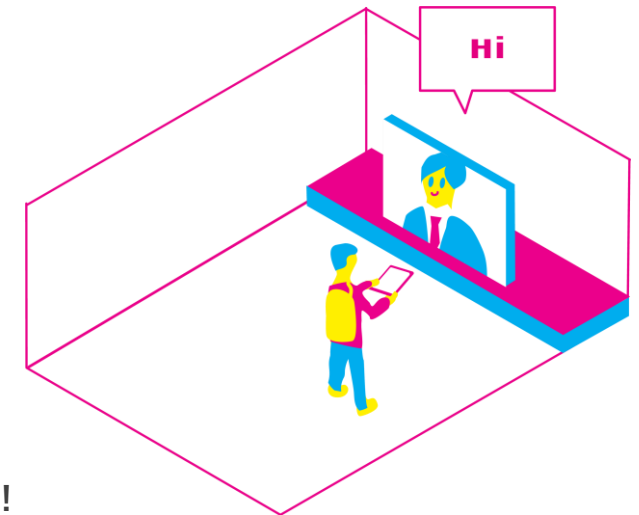
- 紙の書類による届出・申請が主流であり、窓口に行かないと対応できない。
- 市庁舎の開庁時間にしか手続きできない。
- 一つの届出に伴っていくつもの手続きが発生し、あちこちの窓口に行かなければならない。

ミライバリ  
ビジョン  
Vision

- さまざまな届出や申請を、窓口だけでなくオンラインでも手続き可能に。
- AIコンシェルジュ\*70のオンライン窓口で、24時間問い合わせに対応。
- 複数の手続きが一本化され、一度で完結。

ミライバリ  
アクション  
Action

- 👉 行政手続きを順次オンライン化、ペーパーレス化。
- 👉 AIチャットボット\*71が、24時間問い合わせ対応中！
- 👉 市民課にて「おくやみコーナー」「書かない窓口」「待たない窓口」実施中！



# クロスメディア\*72による情報発信と プッシュ型で最適な情報提供（②情報発信のDX）



いままで  
As is

広報誌などの既存の手段に加え、テレビやSNS、動画配信サービスなど、住民が慣れ親しんでいる媒体で、親しみやすく、わかりやすく発信します。世代や居住地などに応じ、住民一人ひとりのニーズに最適な情報をプッシュ型で提供していきます。

- 現在の市の広報は、これまでの紙の広報誌に加え、テレビやラジオ、オンラインも併用している。
- 今治市公式SNSアカウントが、分野ごとに多数ある。
- 情報があふれ、市民一人ひとりが、自分のニーズに合わせた情報を拾うのが難しくなっている。

ミライマバリ  
ビジョン  
Vision

- 住民それぞれが自分に適したツールで、必要な情報を得られる。
- SNSアカウントを目的別に整理し、利用しやすく。
- 個人の困りごとやニーズに応じたプッシュ型配信だけでなく、相談や解決への動線を整備。
- 見やすいショート動画も活用し、楽しくわかりやすく情報発信。

ミライマバリ  
アクション  
Action

- 👤 親近感を生み出す市民参画型情報ポータルサイト。
- 👤 今治市公式LINEでは、年齢や地域によって必要な情報をプッシュ型でお知らせ中！
- 👤 今治市公式LINEから、市の主要なサービスへ直接アクセス可能！
- 👤 SNSや動画投稿サイトなど、多様な媒体で市の情報をピックアップして配信中！

# 業務のデジタル化による生産性向上とスマートな行政運営 (③業務改革のDX)



いままで  
As is

まずは業務プロセス自体の見直しからはじめ、時間のかかる義務的な事務処理の簡素化、自動化、省力化を行います。それにより生み出した時間で、窓口など人に関わる業務に注力し、あたたかみのある市役所を目指します。

- 現在の業務プロセスが紙の手続きを基本としており、そのままデジタル化するのは非効率。
- 事務のデジタル化や効率化を進めても、手作業や、人と向き合う業務はなくなる。
- 今後広域でのデータ連携に向け、データや手続きの標準化を進める必要がある。

ミライマバリ  
ビジョン  
Vision

- デジタルでも、対面でも、市民の便利な方法で手続きができる市役所。
- しなくていい仕事を「しない」ことで時間を生み出し、すべての窓口でより丁寧な対応を。
- 職員向けにも、市民向けにも、どうしても必要な手続きは、動画などでわかりやすく共有。
- 紙での書類手続きを減らし、ペーパーレスで身軽な行政へ。

ミライマバリ  
アクション  
Action

- 🌀 BPR<sup>\*73</sup>やデジタル化で業務を改善、職員によりよいサービスのための余裕を生み出す。
- 🌀 オンライン申請により住民の利便性を高め、かつ、ペーパーレス化を促進。
- 🕒 RPA<sup>\*74</sup>による業務の自動化、順次導入中！



# 時間や場所にとらわれない生産性の高い新しい働き方への転換 (④働き方のDX)



いままで  
As is

電子決裁や文書の電子化を進めることで、テレワーク<sup>\*75</sup>やサテライトオフィス<sup>\*76</sup>など、多様なワークスタイルを可能にします。オフィス環境を多様な働き方のできるスマートオフィス<sup>\*77</sup>に刷新し、市役所全体の生産性を向上させます。

- 行政事務が従来の紙ベースでの処理を前提にしており、オンラインで処理できない仕事が多い。
- 個人情報を守るためのセキュリティ上の制限により、テレワークの困難な業務もある。
- 市域が広域にわたることから、書類や職員の物理的な移動時間が効率化の妨げとなっている。

ミライバリ  
ビジョン  
Vision

- 紙で残すべき書類は残しながら、電子決裁と併用して業務をスピードアップ。
- 机や場所に縛られない働き方で、フットワークの軽い市役所へ。
- 外部人材活用やテレワークなどで、所属や居住地にとらわれず優れた人材を集められる仕組みづくり。

ミライバリ  
アクション  
Action

- 🌀 スマートオフィス化による働きやすい職場環境の構築。
- 🌀 プロジェクトチームなど、職員同士のネットワークを生かした業務体制。
- 👉 電子決裁の本格導入に向け準備中。
- 👉 テレワーク、リモートワークを順次拡大中！

# マイナンバーによる統合IDの実現など データ連携プラットフォーム<sup>\*78</sup>の構築（⑤データ連携のDX）



いままで  
As is

- マイナンバーカードの普及率向上を目指して、休日開庁や出張申請受付などを実施している。
- 自治体や企業などは、それぞれの独自の形式でデータを扱っており、共有や活用が難しい。

ミライマバリ  
ビジョン  
Vision

- マイナンバーカードの意義が周知され、市民に広く普及している。
- 官民のデータが安全に共有されることで、産業や福祉などで幅広く活用可能になる。
- 行政サービスが高度化し、住民の利便性が向上する。

ミライマバリ  
アクション  
Action

- ⑤ マイナンバーカードの便利な使い方を動画でお知らせ。
- ⑤ 民間事業者でのマイナンバーカード利活用を支援。
- 👉 愛媛県にて、市町と連携するデータ連携基盤の構築に向けた取り組みが開始。

# オープンデータの活用による官民サービスの高度化 (⑥データ活用のDX)



いままで  
As is

公共データの活用法について官民で刺激しあう機会をつくることで、交通、観光、医療、農業、防犯など幅広い分野で新しいサービスの創出を促します。また、多様なデータを活用し、EBPM<sup>\*80</sup>の考え方に基づく実効性の高い政策立案を行います。

- 市のHPでオープンデータは公表されているが、活用しやすい形式でないものもある。
- オープンデータを活用してできること、やりたいことへの知見や技術は不足している。
- EBPMの考え方が政策立案に十分反映されていない。

ミライマバリ  
ビジョン  
Vision

- 業務のデジタル化により、自動的に利用しやすいデータを作成し、公開。
- データの利活用について地域と市役所がともに考え、研究する。
- EBPMの考え方に基づき政策立案できる職員を育成。

ミライマバリ  
アクション  
Action

- 🕒 公共データ活用について、市と民間、教育機関などで協働研究。
- 🕒 既存の政策を公共データを用いて再分析し課題解決へ。
- 👉 今治市の統計情報をオープンデータとして市ホームページで公表中！

# DXの基盤となる利用しやすい情報通信環境の整備 (⑦通信環境のDX)



いままで  
As is

公共施設や人が集まるスポットを中心に公衆Wi-Fiを設置し、誰もが気軽にインターネットを利用できる環境の整備を進めます。また、5G<sup>\*81</sup>やLPWA<sup>\*82</sup>などの通信環境の整備を推進し、遠隔医療や農林業などでの活用が可能な環境を作ります。

- 島しょ部や山間部では携帯電話の電波が入らない場所があるなど、通信環境が均一でない。
- 非常時やイベントでの活用に備え、公共施設への公衆Wi-Fiの設置が急務である。
- 生活インフラとしての通信回線の状況が、住民に見えにくい。

ミライマバリ  
ビジョン  
Vision

- 誰でも、どこでもインターネットを利用できる通信環境の整備。
- 公衆Wi-Fiの普及と見える化。
- 通信環境整備で「できること」を増やし、「行こう」「使おう」「やってみよう」につなげる。

ミライマバリ  
アクション  
Action

- 🕒 集会所や公共施設などに高速回線を整備し、テレワークなども可能な人の集まるスポットに。
- 🕒 どこでも届く電波を使って、自動運転やスマート農業の推進。
- 🕒 愛媛Free Wi-Fi、公衆Wi-Fiのエリア拡大中！

# スマート自治体の実現に向けたDX人材の育成

## (⑧DX人材の育成)



いままで  
As is

ミライマバリ  
ビジョン  
Vision

ミライマバリ  
アクション  
Action

研修やOJT<sup>\*83</sup>を通じて、DXに取り組むために必要な「変革マインド」を持った職員を育成し、アジャイル型業務改善を進めて、スマート自治体への転換を実現します。また、職員へのリカレント教育<sup>\*84</sup>や民間企業との連携によって、新たな知識やスキルで市民サービスを行います。

- デジタル技術を手段や道具として使いこなす姿勢がもっと求められている。
- デジタル化に主眼が置かれがちだが、大事なのはデジタルによる変革。
- 他の行政機関との交流人事や民間企業への派遣などにより、外部の知恵を市政運営に取り入れている。
- 慣例や計画にとらわれず、現場でやりながら改善するアジャイル型の業務改革。
- サービスデザイン思考に基づき住民サービスを変革。
- 市民の理解のもと「ためしにやってみる」「違ったら変える」でおそれず前進。
- 官民連携による「オープン・イノベーション」<sup>\*85</sup>を推進、人のつながりソーシャル・キャピタルの形成。
- ⑧ デジタル人材職員の育成や、多様なデジタル人材の受け入れ、活用。
- ⑧ 職員のリカレント教育や、民間や他団体と提携したリスキリング<sup>\*86</sup>の推進。
- 👉 デジタル未来コンソーシアムによる、デジ5ルを通じた官民連携体制の形成。

# DXによる利便性の向上とセキュリティ確保の両立

## (⑨ DX推進のためのセキュリティ対策)



いままで  
As is

庁内における情報セキュリティや個人情報保護をソフト<sup>\*87</sup>、ハード<sup>\*88</sup>の両面から徹底し、サイバー犯罪の防止やインシデント<sup>\*89</sup>対策を適切に講じます。また、市民や企業の情報モラル、ICTリテラシーの向上を目指す取組を推進し、誰もが安心してデジタルの恩恵を受けられる社会を目指します。

- デジタルへの知識不足からくる不安感が普及の支障となっている。
- デジタル化のメリット・デメリットやリスクを正しく学んで使いこなす意識が必要。

ミライマバリ  
ビジョン  
Vision

- 市職員や、地域企業、住民自身のITリテラシーを向上。
- デジタル犯罪に対する対応策や被害者救済策が整理され、わかりやすい相談窓口がある。

ミライマバリ  
アクション  
Action

- 🗣️ デジタルに関する総合相談窓口。
- 👨🎓 小学校からのICT教育でデジタルネイティブ<sup>\*90</sup>の健全育成。
- 👨🎓 デジタル未来コンソーシアムで地域全体のデジタル力の底上げを図る！

## MaaS (マース) \*91

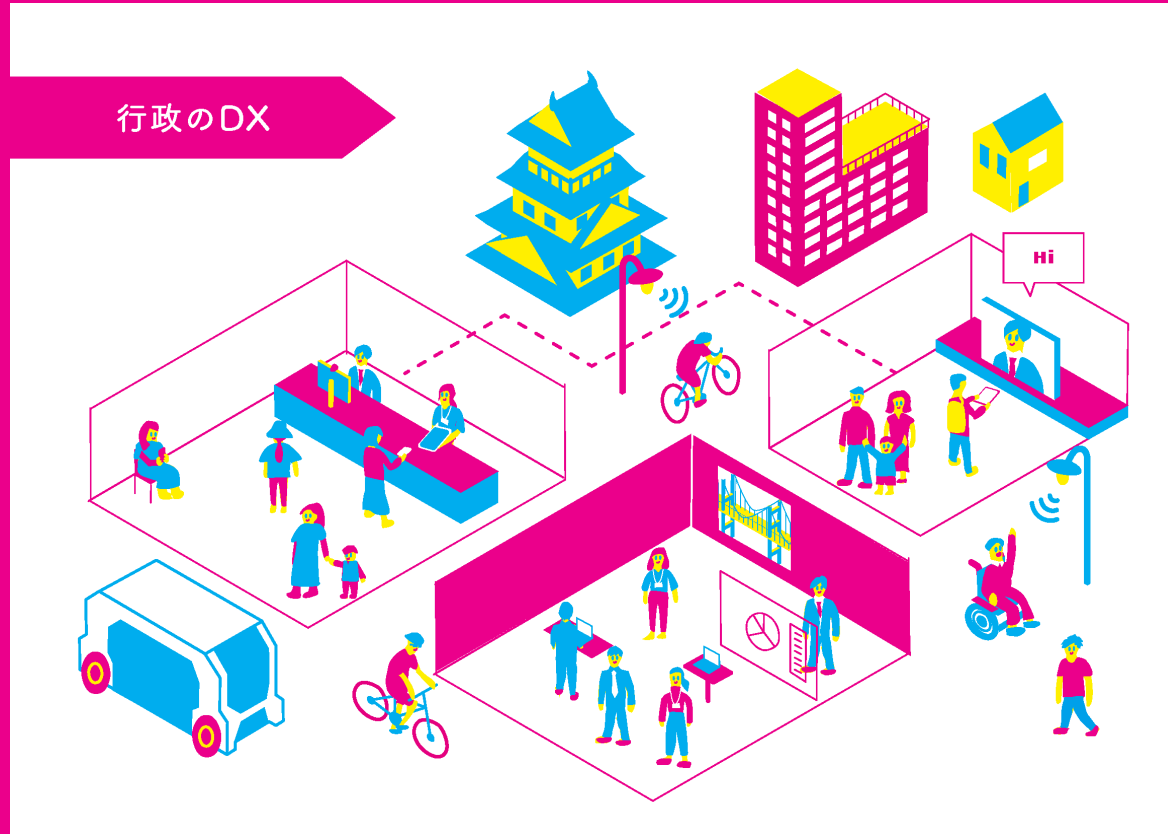
MaaSとは、Mobility as a Service (モビリティ・アズ・ア・サービス) の略。

「サービスとしての移動」という意味です。

移動市役所や、移動病院、あるいはオンデマンドタクシーや自動運転バスなど、「行く」「来る」に関わるさまざまなサービスが含まれます。

2023年、新しいオンデマンド型交通サービスである「チョイソコ」や「mobi」が、今治市内の一部地域で運行を開始しました。

## 行政のDX



## 行かない市役所

市役所に行かなくてもスマホからできる手続きを、順次増やしています。

また、今治市役所の本庁と各支所をオンラインでつなぐ窓口を、2023年3月に設置しました。

支所の窓口で、本庁の担当者と顔を合わせて相談できます。支所の近くにお住まいの方は、ぜひご利用ください。

## スマートシティ

街のどこでもWi-Fiでつながっていて、いつでも暮らしに必要な情報にアクセスできると便利です。

さらに、マイナンバーカードをかざすだけで公共施設の利用申請ができたり、さまざまな行政サービスが受けられるような仕組みも、国の主導で研究が進んでいます。



## 今治市デジタル未来戦略 実施戦略

今治市役所 総合政策部  
未来デジタル課

〒794-0081

愛媛県今治市別宮町1丁目4番地1

電話 0898-36-1509 (直通)

e-mail mirai@imabari-city.jp



- 1 今治市デジタル未来戦略 基本戦略
- 2 今治市デジタル未来戦略 実施戦略
- 3 (別添1) 進捗管理表 (各年度)
- 4 (別添2) デジタル関連用語集